

CAP スペシャルニーズプログラム

スペシャルニーズプログラム(SNP)とは、知的障がいのある子どもたちのための CAP プログラムです。

【対象】

特別支援学校や特別支援学級など、知的障がいのある子どものクラスや学習集団で実施します。
1 グループ 10 名程度。年齢は小学生～高校生。

【構成】

先生と協働で実施する CAP プログラムです。CAP スペシャリストが実施する日(3 日間)と先生が実施する日(2 日間)で構成されています。

- ①予習日 先生による予習(30～45 分)
- ②CAP1日目 CAP スペシャリストによるワークショップ(30～45 分)+ 先生による復習
- ③CAP2日目 //
- ④CAP3日目 // +トークタイム(30 分)
- ⑤復習日 先生による復習(30～45 分)

※トークタイム=子どもの話を聞き質問を受ける時間

【実施にあたって】

CAP スペシャルニーズプログラムも他の CAP プログラムと同様に、子どもワークショップ実施の際には、教職員ワークショップと保護者ワークショップが重要です。

【障がいのある子どもへの CAP】

障がいのある子どもたちへの CAP 子どもワークショップは、スペシャルニーズプログラムのほかに、その年齢や各々の学び方にあわせたワークショップを実施しています。

子どもはみんなすばらしい力を持っています。障がいのある子どもたちもその力を発揮して自分を守ることができます。そのためには、子どもの周りにおとなの理解と支援のあり方が重要です。障がいのある子どもたちへの CAP の取り組みは、すべての子どもたちが大切にされ地域で安全に暮らすための理解と認識を広げていきます。



子どもの育ちを支援する

～障がいのある子もない子も自分を守るために～



わたしにできること、あなたにできることを一緒に考えていきましょう

すべての子どもには、安心して成長・発達する権利があります。

しかし、子どもはさまざまな要因から、おとなに比べて暴力の被害にあいやすく、さらに障がいのある子どもは、そうでない子どもに比べて8～10倍も暴力の被害にあいやすいという調査結果もあり、子どもたちの育つ環境は安全とは言えません。

この状況を変えるためには、子どもを支援するおとなたちが子どもの視点に立ち、子どもの人権や成長・発達に関する正しい知識・情報を共有する必要があります。

子どもは、周囲の人たちから一貫した支援を受ける中で、「自分は大切な存在」と感じることができるようになります。そしてそれは、障がいのある子にとっても、障害のない子にとっても、暴力被害を減らす重要なカギとなります。

日 時	2015年〇月〇日(〇) 00:00～00:00
-----	--------------------------

場 所	〇〇市立〇〇小学校 視聴覚室
-----	----------------

対 象	保護者、教職員、地域の方
-----	--------------

講 師	NPO法人おきなわ CAP センター
-----	--------------------

内 容	●子どもへの暴力とは？ ●身を守る方法の伝え方 ●話の聴き方 ●スペシャルニーズプログラムの模擬体験 ●もしも子どもが被害にあったら？ 他
-----	--

※特別支援クラスで子ども向けのワークショップを実施するための事前学習も兼ねています。保護者のみなさんが内容を知っていることで、一緒に取り組むことができます。ぜひご参加ください。



CAPとは…Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。わかりやすい言葉で人権概念を教え、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力などさまざまな暴力に対して何ができるかを、子ども、親、教職員、地域の人々に伝える人権教育プログラムです。